

都市再生整備計画 事後評価シート

た け た
竹田地区

令和2年3月

お お い た け ん た け た し
大分県 竹田市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	大分県	市町村名	竹田市	地区名	竹田地区	面積	112ha
交付期間	平成26年度～平成30年度	事後評価実施時期	平成31年度	交付対象事業費	5532.7百万円	国費率	45.0%
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	<p>公園(文化会館児童公園) 地域生活基盤施設(駐車場整備事業、案内看板等整備事業) 高貫空間形成施設(道路美化整備事業、電線類無電柱化整備事業、街路灯整備事業) 高次都市施設(竹田市文化会館等施設復興整備事業(玉来)、竹田市コミュニティセンター(仮称)、竹田城下町・岡城跡歴史文化交流センター)</p>				
		提案事業	<p>地域創造支援事業(新竹田市立図書館建設事業、こども診療所整備事業、竹田城下町・岡城跡歴史文化交流センター) 事業活用調査(城下町再生浄化槽管渠調査事業、中心市街地土地空間高度利用調査事業、定住促進ビジョン策定事業、事後評価分析調査) まちづくり活動推進事業(コミュニティバス運行事業)</p>				
	当初計画から削除した事業	基幹事業	公園(竹田荘公園、稲葉川やすらぎ公園) 高次都市施設(岡城跡ガイダンスセンター)	<p>○公園(竹田荘公園、稲葉川やすらぎ公園) ・公園の整備手法のリニューアルから維持補修での整備手法への変更に伴い、平成30年度以降の長寿命化計画の策定により事業実施するため削除 ○高次都市施設(岡城跡ガイダンスセンター) ・歴史資料館及び水琴館と岡城跡ガイダンスセンターを「竹田城下町・岡城跡歴史文化交流センター」として合築整備するため削除</p>		<p>○公園(竹田荘公園、稲葉川やすらぎ公園) ・平成30年度以降となるため、数値目標は下方に修正 ○高次都市施設(岡城跡ガイダンスセンター) ・廃止ではなく合築による事業の変更であり、竹田城下町の回遊性の向上が期待されるため、数値目標は上方に見直す</p>	
			地域創造支援事業(暮らしのサポート中央センター整備事業、瀧廉太郎記念館改修事業、歴史資料館改修事業、足湯スポット整備事業、岡城跡ガイダンスセンター整備事業) 事業活用調査(消費者ニーズ動向調査、“suBoca”カード地域通貨導入事業) まちづくり活動推進事業(定住促進PR事業、城下町きり輝く繁盛店づくり事業)	<p><地域創造支援事業> ○暮らしのサポート中央センター整備事業 ・地元との調整の結果、平成30年度中の実施が見込めないことから削除 ○瀧廉太郎記念館改修事業 ・平成30年度までの隣接用地の取得が困難となったため削除 ○歴史資料館改修事業 ・「竹田城下町・岡城跡歴史文化交流センター」として岡城跡ガイダンスセンターと合築整備することとしたため削除 ○足湯スポット整備事業 ・竹田市中心市街地活性化基本計画認定により、他省庁の補助を活用できる見込みとなったため削除 ○岡城跡ガイダンスセンター整備事業 ・「竹田城下町・岡城跡歴史文化交流センター」として歴史資料館、水琴館と合築整備するため削除</p>		<p><地域創造支援事業> ○暮らしのサポート中央センター整備事業 ・目標値を下方に見直す ○瀧廉太郎記念館改修事業 ・目標値を下方に見直す ○歴史資料館改修事業 ・回遊性の向上により増加が見込まれる ○足湯スポット整備事業 ・指標への影響はない ○岡城跡ガイダンスセンター整備事業 ・指標への影響はない</p>	
		事業活用調査(消費者ニーズ動向調査、“suBoca”カード地域通貨導入事業) まちづくり活動推進事業(定住促進PR事業、城下町きり輝く繁盛店づくり事業)	<p><事業活用調査> ○消費者ニーズ動向調査 ・他省庁の事業で実施予定となったため削除 ○“suBoca”カード地域通貨導入事業 ・新たなICカードの構築と利用者の合意形成には時間を要すると判断し、計画期間内の事業実施を先延べすることとして削除 <まちづくり活動推進事業> ○定住促進PR事業 ・竹田市中心市街地活性化基本計画認定により、他省庁の補助を活用できる見込みとなったため削除 ○城下町きり輝く繁盛店づくり事業 ・他省庁の事業で実施予定のため削除</p>		<p><事業活用調査> ○消費者ニーズ動向調査 ・指標への影響はない ○“suBoca”カード地域通貨導入事業 ・指標への影響は軽微のため据置き</p>		
		公園(文化会館周辺) 高次都市施設(竹田城下町・岡城跡歴史文化交流センター)	<p>○公園(文化会館周辺) ・竹田市文化会館の復興整備に向けた住民合意形成の場において、文化会館周辺整備の要望もあり、文化会館の利便性向上に向けた一体的な周辺整備を新たに追加 ○高次都市施設(竹田城下町・岡城跡歴史文化交流センター) ・岡城跡ガイダンスセンターと歴史資料館改修事業を合築整備する施設として新たに追加</p>		<p>○公園(文化会館周辺) ・中心市街地の利用率といった指標達成への影響があり非常に効果的である ○高次都市施設(竹田城下町・岡城跡歴史文化交流センター) ・竹田城下町の回遊性の向上が期待でき、指標達成への好影響となる事業であるため、目標値を上方に見直す</p>		
新たに追加した事業	基幹事業	公園(文化会館周辺) 高次都市施設(竹田城下町・岡城跡歴史文化交流センター)	<p>○公園(文化会館周辺) ・中心市街地の利用率といった指標達成への影響があり非常に効果的である ○高次都市施設(竹田城下町・岡城跡歴史文化交流センター) ・竹田城下町の回遊性の向上が期待でき、指標達成への好影響となる事業であるため、目標値を上方に見直す</p>		<p>○公園(文化会館周辺) ・中心市街地の利用率といった指標達成への影響があり非常に効果的である ○高次都市施設(竹田城下町・岡城跡歴史文化交流センター) ・竹田城下町の回遊性の向上が期待でき、指標達成への好影響となる事業であるため、目標値を上方に見直す</p>		
	提案事業	地域創造支援事業(竹田城下町・岡城跡歴史文化交流センター) 事業活用調査(中心市街地土地空間高度利用調査事業)	<p>○地域創造支援事業(竹田城下町・岡城跡歴史文化交流センター) ⇒岡城跡ガイダンスセンターと歴史資料館改修事業を合築整備する施設として新たに追加 ○事業活用調査(中心市街地土地空間高度利用調査事業) ⇒基幹事業等の施設整備に向けてより有効な土地利用を検討するための調査事業として新たに追加</p>		<p>○地域創造支援事業(竹田城下町・岡城跡歴史文化交流センター) ・竹田城下町の回遊性の向上が期待でき、指標達成への好影響となる事業であるため、目標値を上方に見直す ○事業活用調査(中心市街地土地空間高度利用調査事業) ・調査事業であるため、指標への影響はない</p>		
交付期間の変更	当初	平成26年度～平成30年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-		
	変更	変更なし					

	指標		従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ 予定時期			
		単位		基準年度		目標年度	モニタリング	評価値							
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標1	城下町内居住人口の増加	人/年	1,284	H25	1,300	H30年度末	1,210	1,136	△	あり なし	令和2年4月			
	指標2	中心市街地の利用機会の向上	%	5	H25	10	H31年秋	4	5	△	あり なし	令和2年11月			
	指標3	地区観光客数	人/年	204,000	H24	222,588	H30年度	191,876	171,429	△	あり なし	令和3年4月			
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	その他の数値指標1	歩行者交通量	人/12時間	2,805	H25~H29の平均			-	3,378			令和2年9・10月			
	その他の数値指標2	図書館の入館者数(年度)	人(年度)	38,023	H27年度				72,973			令和2年4月			
	その他の数値指標3	中心市街地での取組に対する評価	%	-	-				48.5			令和2年11月			
4) 定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・竹田市立図書館は、城下町に調和したデザインが高い評価を受け、2019年日本建築学会作品選奨に選ばれた。 ・市民アンケートでは、「公園・広場などの子どもの遊び場」「イベント、催事での利用」「サークル活動、文化活動の施設利用」に対する満足度が非常に高まっている。 ・中心市街地の利用機会に関する設問では、「図書館に行くことが楽しくなった」、「魅力的な店が増えた」、「大分へ行く回数が減り、竹田のお店を利用するようになった」、「イベントが増えた」などの理由から、利用機会が増加しているという回答がみられるようになった。 ・高校生アンケートにおいても「中心市街地での取組に対する評価」は、市民アンケートと同じような傾向を示すとともに、自由意見では図書館の利用について高く評価する記述が多い。 ・度重なるイベントやワークショップ、多様な参加者による交流、連携の活動展開が各種整備事業と相まって大きな効果に結びついていることが考えられる。 														
5) 実施過程の評価	実施内容			実施状況									今後の対応方針等		
	モニタリング	○各数値目標について、中間時のデータ計測を行った。 ○城下町再生プロジェクト庁内調整会議における事業進捗状況の確認、公共施設の役割分担の検討			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									● ●	
	住民参加プロセス	○竹の子ひろば整備：市民ワークショップ(2回実施) ○城下町交流プラザ整備：コミュニティセンター部会(14回)、意見交換会(9回)、関係者説明会等 ○市民が主役の文化ホールを創るための学習会：現地説明会(81名参加)、市民シンポジウム(88名参加)、市民説明会(3回)、ワークショップ(89名参加)、管理運営実施計画の団体ヒアリング(22団体)をはじめ多岐に亘る取組みを実施 ○電線類無電柱化整備：無電柱化事業着イベント「通りあそびフェスタ」の開催、現場見学会の開催 ○新図書館整備：シンポジウム、市民フォーラム、パブリックコメント、新図書館かたちづくりの集い(4回)、図書館部会(5回)、閉館及び引っ越しイベントの開催等多岐に亘る取組みを実施 ○ストリートマネジメント計画の策定 ○岡城跡・歴史文化交流センター整備：市民フォーラム、意見交換会/市民説明会(7回)実施 ○匠商連携のまちづくりの推進 ○市内高等学校との連携：地域おこし協力隊との討論会やフィールドワークを通じて地域と連携した学びを推進			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									● ●	
持続的なまちづくり体制の構築	○まちづくり会社の設立 ○中心市街地活性化協議会の設立 ○竹田市景観審議会の設立 ○電線類無電柱化推進協議会の設立 ○電線類無電柱化推進委員会の設立 ○情報誌「Machiデザイン」の発行			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									● ●		

様式2-2 地区の概要

都市再生整備計画事業の成果概要									
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標：歴史的風致と街なみ景観の保全・活用による“魅力あふれる城下町再生まちづくり” 目標1：恵まれた自然環境と利便性に優れた住環境の提供による「暮しいき永住都市の形成」 目標2：歴史と文化に育まれた城下町の風情を活かし、「にぎわいと情緒を創出する観光交流都市の形成」		指標1：城下町内居住人口の増加	単位：人	1,284	H25	1,300	H30年度末	1,136	H30年度末
		指標2：中心市街地の利用機会の向上	単位：%	5	H25	10	H31年秋	5	H31年秋
		指標3：地区観光客数	単位：人	204,000	H24	222,588	H30年度	171,429	H30年度
		その他指標1：歩行者交通量	単位：人/12時間	2,805	H25-H29の平均	-	-	3,378	R元年度
		その他指標2：図書館の入館者数	単位：人	38,023	H27年度	-	-	72,973	R元年度
		その他指標3：中心市街地での取組みに対する評価	単位：%	-	-	-	-	48.5	R元年度
まちの課題の変化		<ul style="list-style-type: none"> ・年間8～13件程度の修景や登録有形文化財の公開活用に向けた保存修理等により、風情ある街なみの形成が進んだ。 ・街路環境整備が進み、歩行者通行量の増加に寄与した。また、ストリートマネジメント基本方針の策定、ゾーン30の指定など、更なる歩行者通行量の増加に向けた仕掛けを施すことができた。しかし、街なみ保全を優先した事業であったため、交通安全性に関する問題は残る。 ・図書館や総合文化ホール、子ども診療所等の施設整備が進み、本市の中心となる拠点としての機能向上を進めることができた。今後は施設のサービスや情報発信の充実、施設間連携等が課題となる。 ・継続的な空き家の除却、空き店舗を活用した創業支援が進み、空き家・空き店舗の発生に一定の歯止めをかけることができた。また、空き家・空き店舗を活用した起業が相次ぎ、民間に対し好影響を与えた。しかし、居住ニーズはあるものの、居住希望者と空き家のミスマッチが起きており、解消に向けた取組みが求められる。 ・図書館や総合文化ホール等の市民活動の拠点となる施設整備が進み、従前に比べて利用者数の大幅な増加に寄与した。今後は、施設跡地の有効活用が求められる。 ・コミュニティバスの運行や駐車場の利用向上等の利用しやすい環境づくりは整いつつある。しかし、遠方からの来訪者を受け入れるための駐車場の案内誘導等が課題として残る。 ・核施設となる竹田市コミュニティセンター（仮称）整備事業や竹田城下町・岡城跡歴史文化交流センター整備事業など、評価時点で完了していない事業もあり、着実に整備を進めることが課題として残っている。 							
今後のまちづくりの方策 （改善策を含む）		<p>【効果の持続を図る事項】 これまで実施した事業効果を持続させるために以下の取組を進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高次都市機能の集客力の維持・向上 ・城下町としての風情ある街なみの保全促進 ・空き家・空き店舗の更なる発生抑制に向けた創業支援・居住支援の実施 ・回遊性の増進に向けた案内誘導の充実 <p>【改善する事項】 本事業において、評価時点で一部の事業が完了していないものもあり、着実に整備を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・城下町としての風情ある街なみの活用促進 ・回遊しなくなる仕掛けづくりの実施 ・施設跡地の有効活用 ・核施設（竹田市コミュニティセンター、竹田城下町歴史文化交流センター）の整備推進 							